

授業概要

本授業では、心理学研究に必要な論理的思考および、その主要な手法に関する基礎的な知識やスキルについて講義する。研究の目的の設定、データの収集・分析、結果の処理から論文化までの流れを、実例を通して概説していく。また、心理学研究における倫理の問題についても触れ、研究者として求められる姿勢について学ぶ。本授業を通して、心理学における科学的な研究方法の基盤となる考え方を形成することを目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の目的と概要について
第 2 回	心理学研究とは
第 3 回	科学的実証とは何か
第 4 回	独立変数の操作
第 5 回	従属変数の測定
第 6 回	剰余変数の統制
第 7 回	実験法
第 8 回	調査法①：質問紙調査とは
第 9 回	調査法②：実施方法
第 10 回	観察法
第 11 回	検査法
第 12 回	面接法
第 13 回	研究の実施、結果の解釈
第 14 回	研究倫理
第 15 回	心理学研究の限界
第 16 回	定期試験（筆記試験）

到達目標

1. 各研究方法についての基礎的知識について理解し、自らのことば説明できる。
2. 心理学研究の基盤となる科学的な考え方ができる。
4. 研究を行う上で遵守すべき事項を理解することができる。
3. 授業を通して身に着けた知識を、今後の自身の研究に関連づけることができる。

履修上の注意

- ・毎回の授業でリアクションペーパーを提出していただきます。積極的に感想や質問を記入してください。
- ・出席状況の基準を見たさない場合は、定期試験を受けることができません。
- ・授業中の私語やスマホの利用は禁止します。

予習・復習

- ・授業の資料は事前にオンライン上にアップします。各自、授業前に必ず目を通しておいってください。関連するトピックやわからない点は事前に調べておきましょう。
- ・授業内容はしっかりと復習し、知識として定着させることを意識してください。

評価方法

授業への参加態度やディカッションやワークへの参加状況（20%）、リアクションペーパーの内容（20%）、定期試験（60%）の結果を総合的に評価する。

テキスト

- ・教科書名：心理学研究法-心を見つめる科学のまなざし 補訂版
- ・著 者 名：高野陽太郎・岡 隆（編）
- ・出版社名：有斐閣アルマ
- ・出 版 年（ISBN）：2017 年（978-4-641-22086-7）